



中村正・秋田屋本店社長

プロポリスとの出会い 六つの蜂産品は、蜂蜜は30年前の1985年でローヤルゼリー、蜜蝋、した。この年の10月、東花粉荷、蜂毒(蜂針)、洋で初となる第30回国際蜂ヤニと云われ、人々の養蜂会議(通称アピモン健康や生活に深く関わっディア)が名古屋で開催しています。その中で蜂ヤニされました。地元企業とニは楽器や金属のつや出いつこともあり、実行委しに使われるものといっ員会に参画し、大会の運たイメージでしたが、ア営と併せて展示や学術発ピモンディア名古屋大会表、商品のコンテストへで「プロポリス」と称さの出品等、事前の準備期れ、大変健康に良いもの間から大会までのロングランに亘りイベント漬けの生活を過ごすこととなりました。

目指せノーベル賞



なかむら・ただし 19の家庭理事長。県養蜂組合連51年、岐阜市生まれ。博合会長。岐阜南法人会長。博士(医学)。藤田保健衛生県経済同友会代表幹事。岐生。県製菓協会。県研究 皇放送番組審議会委員、県生。県製菓協会。県研究 フェンシング協会。県立開発財団評議員。みつばち岐阜北高校同窓会長。

であることが発表されま表をしました。ローヤルゼリーについて、弊社でリスは広く普及し、研究するよう努めたいと思いま

74年に当時、東京・目黒は昭和38年に医薬品としも数多く発表されるようす。小生は、41年前の19て承認を受け、研究、開になりまし。六つの蜂研究所にて蜂蜜の品質検査進してきました。しかし、の研修以来、商品の品質プロポリスについては、局方に収載され、医薬品たいと期待しており、プ保証の重要性を痛感し、それまで有効活用の認識としても利用されていまロポリスはじめ蜂産品は分析検査に力を入れてきが無く、アピモンディアす。プロポリスは蜂産品その価値を充分に持つ素ました。その結果として名古屋大会で、欧州諸国の中でも免疫力を高め外晴らしいミツバチの贈りアピモンディア名古屋大の発表に驚き、衝撃を受つエース的存在です。こ30年前に欧州から紹介会では、ミツバチ治療分の発表に驚き、衝撃を受つエース的存在です。こ30年前に欧州から紹介科会にて、「医薬品ローヤルゼリーの品質規格に究をスタートしました。これを機に研うしたプロポリスの抗酸されたプロポリスを、さについて」という演題で発それから30年が経ち、共同研究を進め、小生自して、日本から発信出来

研究進むプロポリス

身、医学部大たら何と素晴らしいこと学院医学研究でしよう！微力ながら科に10年在籍そのための一助となるよし、ラットのう努めたいと思います。